

# 教育における ICT 活用の可能性と課題

～公正で豊かな学びを実現するためには～

2023 年

11 月 18 日 ⊕

時間：14:10～17:00

場所：関東学院大学 金沢八景キャンパス 3号館

## 「ICT を機械の側面から考える」

砂原 由和（専修大学ネットワーク情報学部教授）

東京学芸大学大学院教育学研究科修士課程（技術教育専攻）修了、筑波大学大学院教育学研究科博士課程（教育哲学専攻）単位取得退学。筑波大学文部技官を経て専修大学講師、2003年から現職。最近の業績は「教育システムの機械論的解釈試論」（『専修ネットワーク&インフォメーション』No.30、専修大学ネットワーク情報学会、2022年）、「人間機械論におけるメディアの教育的意義」（同上誌No.25、2017年）など。

## 「バーチャルシティズンシップと社会系教育への応用」

谷口 和也（東北大学大学院教育学研究科准教授）

『昭和初期社会認識教育の史的展開』（風間書房、1998）で博士学位を修得。その後、イギリスを中心としたシティズンシップ教育を研究し『Citizenship Education in Japan』（共著、Continuum、2011）等を刊行する。近年は、地域社会の課題をくみ取った防災教育や、AR、VRを通じた子どもの社会参画を含むシティズンシップ教育の実践を行っている。

## 「ICT 教育実践例」

牧内 義信（神奈川県立舞岡高等学校教諭）

茅ヶ崎市立中学校、神奈川県立高等学校で勤務後、神奈川県教育局高校教育課指導主事、神奈川県立平塚湘風高等学校教頭、神奈川県立平塚商業高等学校教頭、副校長1年、神奈川県立七里ガ浜高等学校副校長、神奈川県立釜利谷高等学校校長を経て平成31年より現職。主な業績に「釜利谷高等学校クリエイティブスクールと高校教育改革」（『科学/人間』No.47、関東学院大学理工学部・建築環境学部教養学会、2018年）などがある。

## 「横須賀市の ICT 戦略と教育」

松本 敏生（横須賀市経営企画部 ICT 戦略専門官）

関西大学工学部管理工学科卒。ソフトウェア開発企業等に約25年勤務後、2016年6月より任期付き管理職として渋谷区に所属。2020年7月より現職。PMP、システム監査技術者、プロジェクト・マネージャ、ITコーディネータ等の公的資格を保有。専門分野はCRM、プロジェクト・マネジメント。

○ 指定討論者

佐藤 幸也（関東学院大学理工学部教授）

○ 司会

大崎 裕子（関東学院大学教育学部講師）

申し込み方法：当日、会場にてお申し込みを受け付けます。

お問い合わせ先：関東教育学会第71回大会準備委員会事務局 [kantokyouiku71@gmail.com](mailto:kantokyouiku71@gmail.com)